



平成 27 年 5 月 15 日

各 位

会 社 名 燦キャピタルマネージメント株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 前田 健司
 (コード番号: 東証JASDAQ2134)
 問 合 先 取締役 管理本部 本部長 岡田 和則
 (TEL. 06-6205-5611)
 U R L <http://www.sun-capitalmanagement.co.jp/>

貸倒引当金繰入額(営業外費用)の計上及び業績予想と実績との差異に関するお知らせ

平成27年3月期決算におきまして、下記のとおり貸倒引当金繰入額(営業外費用)を計上するとともに、平成26年5月15日に公表を致しました業績予想と本日公表致しました通期連結業績について差異が生じたので、お知らせ致します。

記

1. 貸倒引当金繰入額(営業外費用)の計上

平成26年3月期から取り組んでいる投資事業の国内不動産売買にかかる他社との共同事業において、協業先に対して当該取組に係る必要な資金として貸し付けた貸付債権50百万円について、取組の進捗が遅延していることにより回収可能性に疑義が生じ、評価を慎重に行った結果、貸倒引当金繰入額として債権額に対する50%の25百万円計上したこと等により、営業外費用における貸倒引当金繰入額を24百万円計上いたしました。

2. 業績予想と実績との差異について

(1) 平成 27 年 3 月 期 通 期 業 績 予 想 と 実 績 と の 差 異

(単位: 百万円, %)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (平成 26 年 5 月 15 日)	615	115	88	63	円 銭 6.90
今回修正(B)	377	△136	△225	△265	円 銭 △ 23.76
増減額(B-A)	△238	△251	△313	△328	円 銭 —
増減率(%)	△38.7	—	—	—	円 銭 —
(ご参考)前期実績 (平成 26 年 3 月 期)	462	6	△38	57	円 銭 7.67



(2) 差異の理由

売上高につきましては、投資事業において、業務提携先との協業による国内不動産の開発及び流動化案件が、期末日において成約に至らなかったこと、仲介・媒介案件の成約が当初の予定よりも減少したこと、小規模太陽光分譲販売について、売電事業における環境の変化からプロジェクトを中止したこと、連結子会社の売上が減少したこと、並びに、当期から取り組み始めた事業会社・事業・工学技術等への投資事業における海外販売戦略について、現在海外からのオファーがあるものの、販売先の環境に適応するように製品をカスタマイズする必要や販売後のメンテナンス等含めた販売体制を整える必要があり、期末日において、これら体制の整備が完了せず、契約までには至らず、前段による影響を埋められなかった結果、前回発表予想を下回ることとなりました。

営業利益につきましては、前期より経費削減に取り組んで参りましたが、当期におきましては、収益基盤の再構築を目指し、海外展開も視野に入れた事業会社・事業・工学技術等への投資等の事業領域の拡大に伴い、当該取組に必要な不可欠な社外役員の増員や支払報酬等が先行して発生したことにより、前回予想を下回ることとなりました。

経常利益につきましては、上記の要因に加え、協業先に対する貸付債権に対する貸倒引当金繰入額を計上したこと、増資による資金調達における発行費用が発生したこと等の結果、前回予想を下回ることとなりました。

当期純利益につきましては、上記の要因に加え、開発案件における手付金等の投資損失が発生したこと、旧東京オフィス閉鎖に係る原状回復費用が発生したこと等の結果、前回予想を下回ることとなりました。

これらの理由により、連結業績予想と実績との差異が発生することとなりました。

以 上